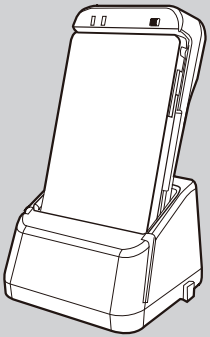
BUG
SAPPORO JAPAN

PitTouch® Slim
ピットタッチ・スリム

ハンディアダプタ /
充電クレードル取扱説明書



株式会社ビー・ユー・ジー

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本製品使用中での不具合または使用条件外での使用によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
! 重要	本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。
MEMO	操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

■取扱説明書の内容について

本書は「ピットタッチ・スリム ハンディアダプタ」「充電クレードル」の取り扱いや操作方法について説明したものです。

「ピットタッチ･スリム」の取り扱いや操作方法については、「ピットタッチ・スリム」の取扱説明書をお読みください。

携帯電話、パソコン自体の取り扱いや操作方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ･スリム」は、株式会社ビー･ユー･ジーの登録商標です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

「おサイフケータイ」は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

ご使用にあたってのお願い

●ご使用の際は取扱説明書に従って正しく取り扱いください。
●本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してください。
●本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
●仕様、外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

充電式ニッケル水素電池についての安全上のご注意

⚠危険

- 電池の充電はハンディアダプタ / 充電クレードルを使用してください。
- 電池は（+）（−）の向きが決められています。ハンディアダプタにセットするときにしっかりと入らない場合は無理にセットしないでください。（+）（−）を逆にセットすると、電池が逆に充電されたり、短絡が起こるなど異常な反応が起こり、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池はハンディアダプタ / 充電クレードルを介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池は本製品専用です。指定機器以外の用途に使いますと、機器によっては異常な電流が流れるなどして電池が破損して、発熱、破裂の原因となります。
- 電池は密閉した状態では使用しないでください。使用の条件によっては発生するガスにより器具を破裂させる原因となります。
- 電池をご使用の際は、次のことを必ず守ってください。
  - 電池を火の中に投入したり、加熱しないこと。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷したり、発生した水素に引火した場合、電池を破裂させる原因となります。
  - 電池に直接ハンダ付けしないこと。熱により、絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷した場合、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池を分解しないでください。電池の内部や外部でショート状態になったり、電池の内容物が空気と反応した場合、電池を発熱、破裂させる原因となります。また、アルカリ液が飛散して危険です。
- 電池を改造しないでください。電池には危険防止のためのガス排気弁が組み込まれています。これらを損なうと、過大電流で充電されたり、充電制御ができなかったり、過大電流で放電された場合、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池は、（+）端子に内部のガスを放出する機能を有するガス排出弁を備えています。したがって、（+）端子の部分を変形させないでください。端子部を変形させると、ガス排出弁が正常に作動しなくなるため、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池は内部にアルカリ液を保持しています。この電池の液が目に入ったときは、失明の原因となります。こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 電池を誤って飲み込むことのないように、使用機器および電池は、特に乳幼児の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 電池をご使用の際は、次のことを必ず守ってください。
  - 電池の（+）と（−）を針金などの金属で接続しないこと。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと。電池がショート状態となり、過大な電流が流れ、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。また、針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
  - 電池の外装チューブを剥がしたり、キズをつけないこと。電池がショート状態となり易く、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。過度に充電され電池を漏液、発熱させる原因となります。
- 電池が漏液したり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは使用しないでください。電池を発熱、破裂させる原因になる恐れがあります。
- 電池は内部にアルカリ液を保持しています。この電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こす原因となります。
- 運搬時は収納されているケースの中身の電池が動かないようにしっかりと梱包してください。破損や金属端子のショートの原因となります。

⚠注意

- 電池を使用しない場合や、長期間機器を使用しない場合には、使用機器から電池を取り出して、必ず -20℃～ 30℃の場所に保管してください。電池を漏液させる原因になる恐れがあります。また、電池がさびることがあります。
- 電池を水や海水やジュースなどにつけたり、濡らさないでください。電池を発熱させる原因になる恐れがあります。また、電池がさびることがあります。
- 充電温度範囲は１０℃～３５℃です。この充電温度範囲以外では、電池を漏液、発熱させる原因になる恐れがあります。
- 電池を、直射日光のあたるところや、炎天下の車内やストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池を漏液させる原因になる恐れがあります。
- 電池を冷えたままや、10℃以下の環境で充電しないでください。電池を漏液させる原因になる恐れがあります。

- 電池を使用する前に、必ず本書をお読みください。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。なお、本書が十分に理解できない場合には、販売元へお問い合わせください。
- 電池の充電方法については、本書をよくお読みください。
- 電池をお買上げ後、初めてご使用の場合、さびや発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、お買上げの販売店へご連絡ください。
- 電池は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、ご使用時に乳幼児がハンディアダプタや使用機器から電池を取り出さないように注意してください。
- 電池を小児が使用の際には、保護者の方が本書の内容を十分にお教えください。また使用の途中においても、本書の方法で使用されているかどうかをご注意ください。
- 電池をご使用の際は、次のことを必ず守ってください。
  - 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。電池を漏液、発熱、破裂させる原因になる恐れがあります。
  - 電池を並列に接続して使用しないこと。電池を漏液、発熱、破裂させる原因になる恐れがあります。
  - 電池の充電や放電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないこと。電池を発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- 電池をご使用後は、機器のスイッチを切ってください。電池を漏液させる原因になる恐れがあります。
- 金属端子部等が露出したものは、ビニールテープ等で必ず絶縁してください。ショートにより発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- ご使用済みの電池は、ビニールテープで絶縁のうえ、最寄りの「リサイクル協力店」にご持参ください。または、設置してある「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。

お願い

- 電池の使用温度範囲は次のとおりです。放電（機器使用時）:0℃～40℃、充電:10℃～35℃、保存：-20℃～30℃
- 機器への取り付け方、取り外し方については、機器の取扱説明書をお読みください。
- 電池をお買上げ後、初めてご使用の場合や長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
- 長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。電池は長期間使用しない場合でも、1 カ月に 1 度は充電を行なってください。

- 電池端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- 強制充電を頻繁に行うと電池の寿命が短くなります。1 日に 1 回を超えて強制充電しないでください。
- 電池には寿命があります。機器の使用時間が短くなったときは、販売元へお問い合わせください。

ハンディアダプタ / 充電クレードルについての安全上のご注意

⚠危険

- アルカリ乾電池やマンガン乾電池などの乾電池は使用できません。
- 本製品専用の充電池以外は使用できません。

⚠注意

- 電池を交換する場合は、ハンディアダプタを充電クレードルから取り外して、電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。充電クレードルの電源プラグを電源コンセントから抜き、ハンディアダプタの電源スイッチを切ってから電池を抜きます。煙が出なくなるのを確認してからお買い求めになった販売元へお問い合わせください。お客様による修理は大変危険ですから、絶対におやめください。
- 本製品を分解したり、改造したりしないでください。発熱・火災・感電・故障の原因になります。
- 誤って本製品を落下させたり、強い衝撃を与えた場合、内部の部品が外れる可能性があります。本製品を振ってカラカラという音がしたとき、あるいは本製品の動作が不安定なときは、充電クレードルの電源プラグを電源コンセントから抜き、ハンディアダプタの電源スイッチを切ってから電池を抜きます。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・故障の原因になります。

- 本製品の内部に水などが入った場合は、充電クレードルの電源プラグを電源コンセントから抜き、ハンディアダプタの電源スイッチを切ってから電池を抜きます。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 本製品の開口部をふさがないでください。発熱などにより、火災・故障の原因になります。
- 本製品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり本製品の内部に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。
- 本製品が薬品や有害ガスに触れないようにしてください。腐食する恐れがあります。また、本製品に有害な物質が付着することになり、人体に害をおよぼす恐れがあります。
- 本製品はピットタッチ・スリム、ピットタッチ・スリム 2 専用です。それ以外は接続しないでください。
- 充電クレードルの上にクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

◎使用場所

- 屋外での使用は、故障の原因になります。屋内でご使用ください。また、直射日光のあたる場所、高温・多湿の場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 冷暖房機器の近くや、通風口からの風があたるところに置かないでください。火災や故障の原因となることがあります。
- 極端な高温または低温は、故障の原因になります。通常の室温（0℃～ 40℃）でご使用ください。
- 結露するような場所で使用しないでください。温度差の激しい環境を急に移動した場合、本製品は結露する恐れがありますのでご注意ください。故障の原因になります。結露した場合、本製品を乾燥させるか、長い時間同じ環境に置いて結露を解消した後、ご利用ください。
- ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本製品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 動作中は内部の温度が上がり、本製品の外側も熱くなる可能性があるため、他の装置等の上に本製品を重ねて設置しないでください。

また、ビニール製のものなどを本製品のそばに置かないでください。変色・変形の原因になります。
- ガス腐食等を伴う環境（塩・酸・アルカリ等）には置かないでください。故障の原因になります。
- 強い磁場を伴う環境には置かないでください。故障の原因になります。
- 各ケーブルは所定のコネクタに接続してください。接続を誤ると、故障の原因になります。
- 本製品やケーブルが人体などと接触するような場所に置かないでください。ケーブルの切断の原因や、落下による本製品の故障の原因になります。

◎お使いのとき
- 本製品の小さな穴を含むすべての穴に、異物を挿入しないでください。感電・故障の原因になります。
- 近くに雷が発生したときは、電池を抜き、すべてのケーブルを外して、ご使用をお控えください。ケーブルの接続や切断、または製品の導入や保守の作業も行わないでください。雷によって、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品の外装汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に軟らかい布を浸し、よくしぼってから拭き取り、さらに乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジンなどの揮発油、アルコールなどを使用した場合、シートおよびプラスチック等を傷める原因となることがあります。
- 本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。本製品が壊れて、けがの原因となることがあります。
- 日本国以外で使用しないでください。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造されています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊す恐れがあります。また、当該国の法令に抵触する場合があるので、使用できません。
- 本製品の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

STOP お願い

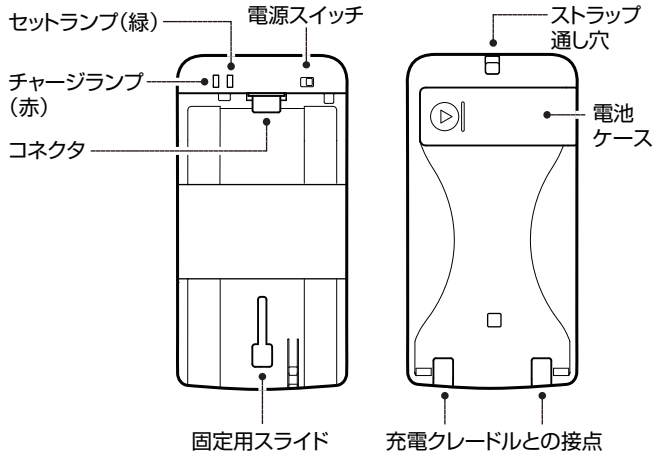
- 動作中に接続ケーブルなどが外れたり、接続が不安定になると、誤動作の原因になります。コネクタをしっかり接続し、動作中は、コネクタの接続部に触れないでください。

1 各部の名称とはたらき

1-1 ハンディアダプタ

ハンディアダプタの各部の名称とはたらきについて説明します。

■上面 / 底面



※ ピットタッチ・スリムの取り付け方は、〈P.19〉で説明します。
※ 充電池の入れ方は、〈P.17〉で説明します。

●電源スイッチについて

	ピットタッチ・スリム	充電
ON	ピットタッチ・スリムの電源が ON になります。〈P.22〉	充電クレードルに置くと、充電が必要か判断し、自動的に充電します。※ 1 通常はこちらを使用します。
OFF	ピットタッチ・スリムの電源が OFF になります。	充電クレードルに置くと強制的に充電します。 長期間使用する前にはこちらを使用すると安心です。※ 2

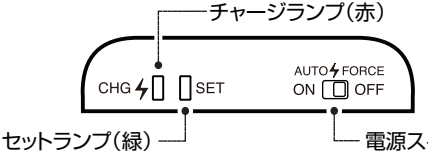
※ 1　充電クレードルに置いた状態ではピットタッチ・スリムは AC アダプタからの電源で動作します（充電池は消費しません）。

※ 2　充電池の容量が十分な状態でも 1 時間程度は充電します。

重 要

頻繁に強制的な充電をすると充電池の寿命が短くなります。

●ランプについて



ランプは、充電クレードルに置いたときの状況に応じて点灯します。

●チャージランプ（赤）

点灯	充電しています。※ 1
点滅	エラーの可能性があります。〈P.29〉
消灯※ 2	充電していません。

※ 1　充電クレードルに置いたとき、最初 2 回ほど点滅します。
※ 2　充電可能な気温（10℃～ 35℃）以外は消灯し、充電しません。

●セットランプ（緑）

点灯	充電クレードルに正しく置かれています。
消灯	充電クレードルに正しく置かれていません。
	充電クレードルに AC アダプタが正しく接続されていません。

重 要

チャージランプが早く点滅（1 秒間に 4 回点滅）した場合は、ハンディアダプタを充電クレードルから取り外し、置き直してください。
早い点滅を繰り返す場合は、「4-2 故障かな？と思ったら」〈P.29〉を参照してください。

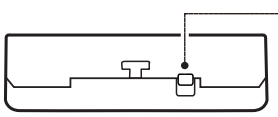
MEMO

チャージランプが点灯もしくは遅く点滅する場合は、充電している状態です。

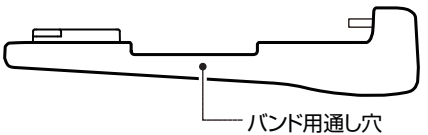
MEMO

充電池の容量が十分な状態では、充電しない場合がありますが、異常ではありません。

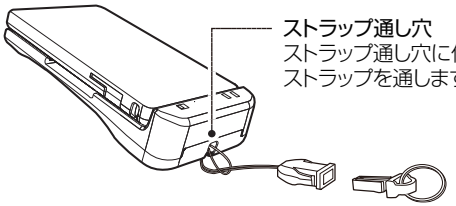
■前面



■側面

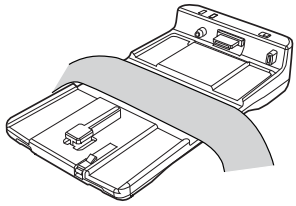


●ストラップを取り付けるときは



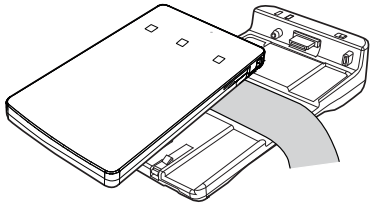
●バンドを取り付けるには

1. バンドをハンディアダプタに取り付けます。



※ バンドは付属していません。

2. 上からピットタッチ・スリムを取り付けます。
「2-2 ピットタッチ・スリムを取り付けるには」〈P.19〉を参照してください。

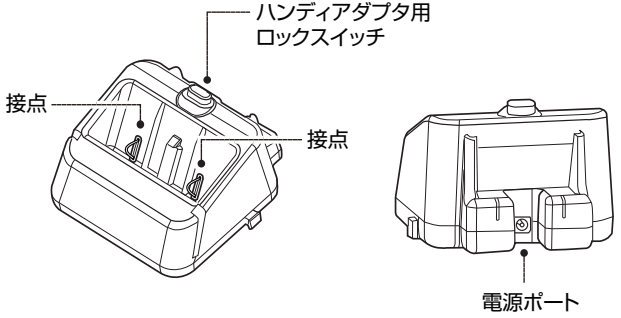


重 要

バンドが折れたり、ねじれたりしてピットタッチ・スリムに力が加わらないようにしてください。ハンディアダプタが壊れる場合があります。

1-2 充電クレードル

充電クレードルの各部の名称について説明します。



※ 銘板は底面にあります。

MEMO

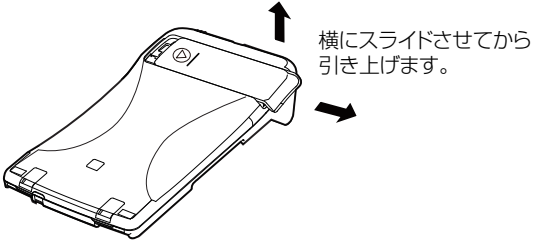
充電クレードルの前面、背面には店舗用ポップを取り付けることができます。詳しくは、販売元にお問い合わせください。

2 ハンディアダプタの操作

2-1 充電池を入れるには

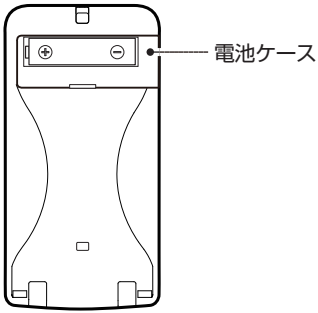
1. ハンディアダプタの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

2. 底面の電池ケースのふたを開けます。



3. 充電池が入っている場合は、取り外します。

4. 図のように単 4 形の専用充電池（充電式ニッケル水素電池）を 1 本セットします。



5. 電池ケースのふたを閉めます。

重 要

充電池の（+）（−）の方向を正しくセットしてください。

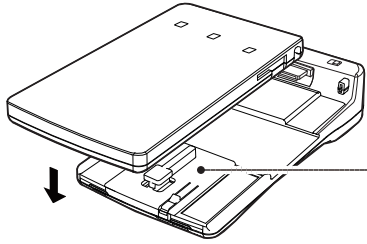
危 険

アルカリ乾電池やマンガン乾電池などの乾電池は使用できません。
本製品専用の充電池以外は使用できません。

2-2 ピットタッチ・スリムを取り付けるには

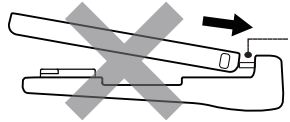
1. ハンディアダプタの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

2. ピットタッチ・スリムの底面のくぼみ部分をハンディアダプタの固定用スライドにはめ込みます。

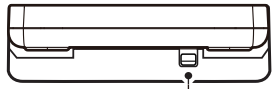


重 要

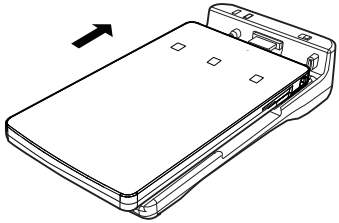
固定用スライドにはめ込まずに、操作するとコネクタを破損する恐れがあります。



3. ピットタッチ・スリムを上から押すとピットタッチ・スリム用ロックスイッチが下がります。



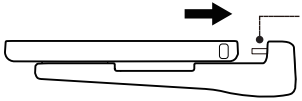
4. ピットタッチ・スリムをハンディアダプタの背面側へスライドさせます。



5. ピットタッチ・スリムをコネクタにゆっくりと差し込みます。

MEMO

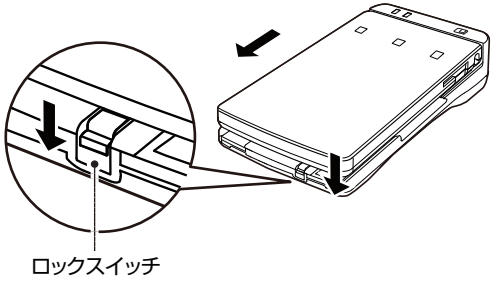
コネクタに差し込みにくいときは、横から見てピットタッチ・スリムとハンディアダプタのコネクタ位置の高さが合うようにゆっくり差し込みます。



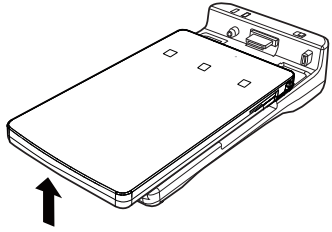
2-3 ピットタッチ・スリムを取り外すには

1. ハンディアダプタの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

2. ピットタッチ・スリム用ロックスイッチを下へ押しながらピットタッチ・スリムを前面側にスライドさせます。



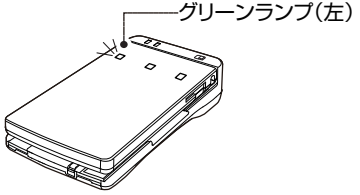
3. ピットタッチ・スリムを手前に引いて、コネクタから完全に外れてから上方向に取り外します。



2-4 ハンディアダプタを使うには

1. ハンディアダプタの電源スイッチを ON にします。

2. ピットタッチ・スリムのグリーンランプ（左）が点滅します。
ピットタッチ・スリムの電源が ON になり、使用できます。



重 要

グリーンランプ（左）（右）が両方点滅する場合は、ピットタッチ・スリムが常時起動モードです。充電池の消耗が早くなります。ピットタッチ・スリムをエコモードに設定してください。ピットタッチ・スリムをエコモードにするには、ピットタッチ・スリムの底面の DIP スイッチ 1 を OFF にします。詳しくはピットタッチ・スリムの取扱説明書を参照してください。

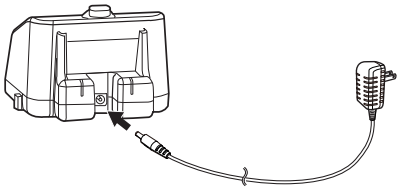
MEMO

充電池の容量がなくなった場合、ピットタッチ・スリムは動作しません。その場合は、充電クレードルに置き、充電してください。

3 充電クレードルの操作

3-1 充電をするには

1. 充電クレードルの電源ポートに AC アダプタを接続します。



重 要

AC アダプタはピットタッチ・スリムに付属しているものをご使用ください。
AC アダプタはピットタッチ・スリムの型番によって異なります。型番は取扱説明書の保証書に記載されています。

ピットタッチ･スリム
の型番　BFR-210

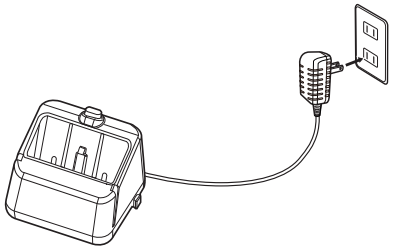
型番　3A-032WU05

※ フェライトコアを使用する必要があります。
詳しくは、別紙「内容物の確認」を参照してください。

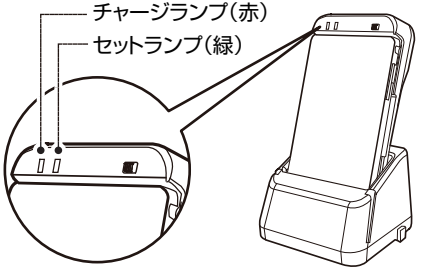
ピットタッチ･スリム2
の型番　BFR-210N

型番　KSCFB0500050W1US

2. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



3. ハンディアダプタを充電クレードルに置きます。
セットランプが点灯します。



4. 充電を開始すると、チャージランプが点灯します。

MEMO

はじめてお使いのとき、電池を交換したとき、長期間使用する前には、電源スイッチを OFF にして充電クレードルに置き、強制的に充電してください。最長約 3 時間で充電できます。
通常は電源スイッチを ON にして充電してください。〈P.12〉
セットランプが点灯しないときは、もう一度置き直してください。

5. チャージランプが消灯すると充電完了です。

チャージランプが点灯しない場合は充電されません。電源スイッチが ON(AUTO) の場合、充電が必要か判断し、自動的に充電します。

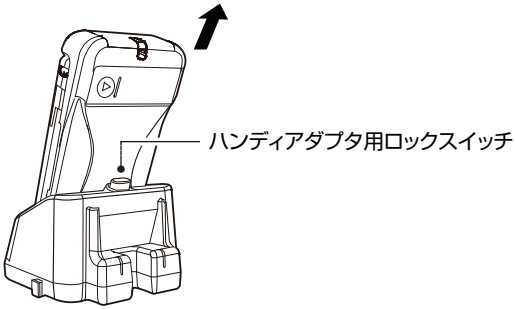
クリップなどの異物を充電クレードルの中に落とさないでください。

水などがかからない場所で使用してください。

強制的な充電を頻繁に行うと電池の寿命が短くなります。1 日に 1 回を超えて強制的に充電しないでください。

3-2 ハンディアダプタを取り外すには

1. ハンディアダプタ用ロックスイッチを押しながらハンディアダプタを引き抜きます。



重 要

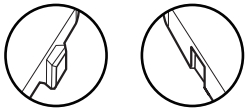
ハンディアダプタ用ロックスイッチを押さない状態で無理に引き抜こうとしたり、衝撃を与えたりしないでください。

MEMO

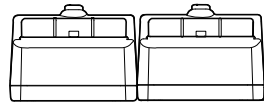
充電している間でも取り外して使用できます。ただし、充電池の容量が十分ではない場合があります。

MEMO

充電クレードルは横に並べて設置できます。ただし、近くのピットタッチ・スリムが誤動作する恐れがあります。その場合は離してご使用ください。



充電クレードルの側面の凸部に
凹部をはさみ込みます。



4 付録

4-1 充電池の取り扱いについて

専用充電池は消耗品です。ピットタッチ・スリムがすぐ使えなくなる場合は、新しい専用充電池に交換してください。ご購入については販売元へお問い合わせください。

●使用済み充電式電池の取り扱い注意事項

（+）端子、（−）端子をテープ等で絶縁してください。

被覆をはがさないでください。

分解しないでください。

●リサイクルのお願い

Ni-MH

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

・ホームページ http://www.jbrc.com/

4-2 故障かな？と思ったら

●充電クレードルに挿して充電するとき

こんなとき	原因	処置のしかた
チャージランプが早く点滅する（1 秒に 4 回）	専用充電池がセットされていない	専用充電池をセットする
	電池ケースの電池端子に正しく専用充電池が接触していない	専用充電池および電池ケースの（+）（−）端子を乾いた布などでふき、専用充電池を正しくセットする
	充電時間が長い（所定の充電時間より長い時間充電される）	故障の恐れがあるので、販売元へ問い合わせる
	専用充電池の寿命または異常	新しい専用充電池に交換する
	専用充電池以外の電池を充電している	専用充電池に交換する
チャージランプが遅く点滅する（1 秒に 1 回）	専用充電池の残容量が少ない	そのまま充電する
チャージランプが点灯しない	残容量の多い専用充電池を充電しようとした	そのまま使用する
		長期間使用する前には強制的に充電する〈P.12〉
	低温・高温の場所で充電しようとした	10℃～ 35℃の場所で充電する
充電時間が短い（所定の充電時間より早く充電が完了する）	残容量の多い専用充電池を充電した	そのまま使用する
	専用充電池の寿命または異常	数回充放電を繰り返し、それでも改善されない場合は新しい専用充電池に交換する
	低温・高温の場所で充電した	10℃～ 35℃の場所で充電する
セットランプが点灯しない	電源プラグや電源ポートの接触が悪い	電源プラグや電源ポートの汚れを取り除き、根元まで確実に差し込む
		別のコンセントに取り付ける
	接点の接触が悪い	必ず電源プラグを抜き、充電クレードルの接点を変形させないように注意して、汚れを取り除く

充電完了直後の専用充電池が熱い	専用充電池の特性上、充電中は温度が高くなる	少したってから専用充電池を取り出す
	専用充電池の寿命または異常	新しい充電池に交換する
充電クレードルから一度外して、再度、置いても充電されない	残容量の多い専用充電池を充電しようとした	そのまま使用する
		長期間使用する前には強制的に充電する〈P.12〉

●ハンディアダプタを使用するとき

こんなとき	原因	処置のしかた
電源スイッチをONにしてもピットタッチ・スリムのグリーンランプが点滅しない	専用充電池の入れ方を誤っている	専用充電池を正しくセットする
	専用充電池の接触が悪い	専用充電池およびハンディアダプタ本体の（＋）（－）端子の汚れを取り除き、専用充電池を正しくセットする
		専用充電池を一度取り外し再度セットしたり、セットしたまま専用充電池を回したりする
	専用充電池の残容量が少ない	充電する
	充電クレードルに置いた際に、充電クレードルの接点との接触が悪い	電源スイッチを一度 OFF にしてから ON にする
		ハンディアダプタを一度取り外し、再度充電クレードルに置く
	ピットタッチ・スリムの設定が点灯しない設定になっている	ピットタッチ・スリムの設定を確認する（ピットタッチ・スリムの設定解説書を参照する）
おサイフケータイをかざして通信に失敗する（ピットタッチ・スリムのレッドランプが点滅する）	ピットタッチ・スリムがエラーしている	ピットタッチ・スリムの設定を確認する（ピットタッチ・スリムの設定解説書を参照する）

ピットタッチ・スリムのブザーが「ピー」と鳴り、グリーンランプ（左）→レッドランプ→グリーンランプ(右)→グリーンランプ（左）→…と2秒間点滅する	専用充電池の残容量が少ない	充電する
専用充電池の使用時間が短い	専用充電池および電池ケースの端子が汚れている	専用充電池および電池ケースの（＋）（－）端子を乾いた布などでふく
	専用充電池の寿命または異常	数回充放電を繰り返し、それでも改善されない場合は新しい専用充電池に交換する
	低温・高温の場所で充電した	10℃～35℃の場所で充電する
	専用充電池の残容量が少ない	長期間使用する前には、強制的に充電する〈P.12〉

5 サポートについて / 製品仕様

■サポートについて

●保証について

保証期間中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき修理いたします。詳しくは「保証書」の保証規定をご覧ください。

●お問い合わせ先

お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

■製品仕様 / 使用条件

●ピットタッチ・スリム ハンディアダプタ　ハードウェア仕様	
動作環境	0℃～ 40℃ / 30% ～ 80%RH（結露なきこと）
保存環境	－ 10℃～ 60℃ / 30% ～ 80%RH（結露なきこと）
充電環境	10℃～ 35℃ / 30% ～ 80%RH（結露なきこと）
電池	単 4 形充電式ニッケル水素電池 1 本 ※ 1 所定最長充電時間 約 3 時間 保存環境 － 20℃～ 30℃ / 30%～ 80%RH （結露なきこと）
外形寸法	61（W）× 26（H）× 119（D）（mm）
質量	約 50g（本体のみ、電池含まず）

※ 1　専用充電池のみ使用可

●充電クレードル　ハードウェア仕様	
動作環境	0℃～ 40℃ / 30% ～ 80%RH（結露なきこと）
保存環境	－ 10℃～ 60℃ / 30% ～ 80%RH（結露なきこと）
外形寸法	75（W）× 56（H）× 80（D）（mm）
質量	約 70g（本体のみ）

ピットタッチ・スリム ハンディアダプタ / 充電クレードル
取扱説明書

発行日：2011 年 5 月　第 2 版
発　行：株式会社ビー・ユー・ジー
〒 004-0015
札幌市厚別区下野幌テクノパーク 1 丁目 1 番 14 号